

各関係機関長 殿

岡山県病虫害防除所長
(公印省略)

病虫害発生予察情報について

病虫害発生予報第2号を下記のとおり発表したの送付します。

令和4年度病虫害発生予報第2号

令和4年4月27日
岡山県

予報概評

作物名	病虫害名	発生時期	発生量	作物名	病虫害名	発生時期	発生量		
水稲	苗立枯れ(もみ枯細菌病による苗腐敗)	—	やや多	モモ	ナシヒメシクイ カメムシ類	並 —	やや多 少		
	ヒメトビウンカ	—		ブドウ	灰色かび病 べと病	やや早 やや早		やや多 やや多	
	縞葉枯病	—		キュウリ等	灰色かび病	—	やや多		
	ツマグロヨコバイ	—							
萎縮病	—	早	イチゴ	うどんこ病	—	並			
イネミズゾウムシ	—		麦類	アブラムシ類 ヤノハモグリバエ	— —	並 並	タマネギ	べと病	—
ジャガイモ	疫病	並	並	ナス等	ミナミキイロアザミ ウマ	—			
モモ	灰星病	—	やや少	アブラナ科	アブラムシ類	並	やや多		
	黒星病	やや早	やや多	野菜	コナガ	並		やや少	
	せん孔細菌病	—	並	キク	アブラムシ類	—	やや多		
	褐さび病	やや早	やや多						
モモハモグリガ	—	少							
ウメシロカイガラムシ	早	並							

(1) 疫病

予報内容

発生時期 並 発生量 並

予報の根拠

ア. ジャガイモの生育は平年並かやや遅れている。

イ. 4月21日の季節予報(1か月予報)によると、気温は平年より高く、降水量は平年より多いとされており、発病をやや助長する条件である。

2. 果 樹

(モ モ)

(1) 灰星病

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

ア. 4月20日の巡回調査では、花腐れの発生圃場率は7.1%で平年(23.2%)より低かった。

イ. 4月21日の季節予報(1か月予報)によると、降水量は平年より多いとされており、発病を助長する条件である。

(2) 黒星病

予報内容

発生時期 **やや早** 発生量 **やや多**

予報の根拠

ア. モモの生育はやや早めに推移している。

イ. 4月20日の巡回調査(越冬病斑調査)によると、発生量は平年並であった。

ウ. 4月21日の季節予報(1か月予報)によると、降水量は平年より多いとされており、発病を助長する条件である。

(3) せん孔細菌病

予報内容

発生量 並

予報の根拠

ア. 4月20日の巡回調査(春型枝病斑調査)によると、発生圃場率は0%で平年(13.6%)より低かった。

イ. 4月21日の季節予報(1か月予報)によると、降水量は平年より多いとされており、発病を助長する条件である。

(4) 褐さび病

予報内容

発生時期 **やや早** 発生量 **やや多**

予報の根拠

ア. モモの生育はやや早めに推移している。

イ. 前年の発生量は平年より多く、伝染源の越冬量は平年より多いと考えられる。

(5) モモハモグリガ(第1世代成虫)

予報内容

発生量 少

予報の根拠

ア. 4月20日の巡回調査(南部)では、発生圃場率は0%で平年(5.7%)より低かった。

イ. 県予察圃場のフェロモントラップによると、4月1~4半旬までの誘殺数は0頭で、平年(3.6頭)より少なかった。

ウ. 4月21日の季節予報（1か月予報）によると、向こう1か月の気温は平年より高く、降水量は多いとされており、発生を助長する条件ではない。

(6) ウメシロカイガラムシ

予報内容

発生時期 **早** 発生量 **並**

予報の根拠

ア. 赤磐市の発生予察圃場における越冬成虫の生存率は91.0%で平年(88.1%)並であった。

イ. 4月4半旬までの農業研究所内の気温を用いた予測式によると、幼虫ふ化最盛日(防除適期)は4月6半旬で平年(5月1半旬)より早いと予測される。

(7) ナシヒメシンクイ

予報内容

発生時期 **並** 発生量 **やや多**

予報の根拠

ア. 赤磐市のフェロモントラップによると、誘殺最盛日は4月7日と推測され、平年(4月9日)並であった。

イ. 4月1～4半旬の誘殺数は67頭で平年(25.7頭)より多かった。

ウ. 4月21日の季節予報（1か月予報）によると、向こう1か月の気温は平年より高いが、降水量は多いとされており、発生を助長する条件ではない。

(8) カメムシ類

予報内容

発生量 **少**

予報の根拠

ア. 初飛来は4月23日で平年(5月7日)に比べ早かった。

イ. 前年2月～5月のスギ・ヒノキの花粉飛散数を利用した予測式によると、本年4～7月の予察灯(赤磐市)への飛来予測数はチャバネアオカメムシが75.0頭(平年321.4頭)で平年より少なく、クサギカメムシが13.5頭(平年41.4頭)で平年より少ないと予測される。

ウ. 4月21日の季節予報（1か月予報）によると、向こう1か月の気温は平年より高く、降水量は多いとされており、飛来に好適な条件ではない。

(ブドウ)

(1) 灰色かび病

予報内容

発生時期 **やや早** 発生量 **やや多**

予報の根拠

ア. ブドウの生育はやや早めに推移している。

イ. 4月21日の季節予報（1か月予報）によると、降水量は平年より多いとされており、発病を助長する条件である。

(2) ベと病

予報内容

発生時期 **やや早** 発生量 **やや多**

予報の根拠

ア. ブドウの生育はやや早めに推移している。

イ. 4月21日の季節予報（1か月予報）によると、降水量は平年より多いとされており、発病を助長する条件である。

防除上の参考事項

ア. ブドウベと病に登録のあるストロビルリン系及び作用点が同一の殺菌剤（アゾキシストロビン剤、クレソキシムメチル剤、ファモキサドン剤）に対して感受性が低下したべと病菌が本県の一部で確認されている。本系統の殺菌剤の使用は1作期1回とし、他系統の殺菌剤と組み合わせる。

イ. ベと病菌は被害葉で越冬し、翌年5月以降、降雨時に葉裏の気孔から侵入して5月下旬頃から葉に発病することから、前年の被害葉は圃場外に持ち出して処分し、伝染源の除去に努める。

3. 野菜

(キュウリ、ナス、トマト、イチゴ)

(1) 灰色かび病

予報内容

発生量 **やや多**

予報の根拠

ア. 4月20、21日の巡回調査によると、発生圃場率はイチゴでは50.0%と平年(32.2%)よりやや高く、トマトでは66.7%と平年(53.2%)並であった。また、キュウリとナスでは発生を認めず、平年(キュウリ0%、ナス4.0%：10年間で1年のみ発生)並であった。

イ. 4月21日の季節予報(1か月予報)によると、気温は平年より高く、降水量は平年より多いとされており、発病をやや助長する条件である。

(イチゴ)

(1) うどんこ病

予報内容

発生量 **並**

予報の根拠

ア. 4月20、21日の巡回調査によると、発生圃場率は14.3%と平年(10.8%)並であった。

イ. 4月21日の季節予報(1か月予報)によると、気温は平年より高く、降水量は平年より多いとされており、発病を助長する条件ではない。

(タマネギ)

(1) ベと病

予報内容

発生量 **やや多**

予報の根拠

ア. 4月20、21日の巡回調査によると、発生圃場率は58.3%と平年(39.7%)よりやや高かったものの、発病程度は21.7と平年(21.9)並であった。

イ. 4月21日の季節予報(1か月予報)によると、気温は平年より高く、降水量は平年より多いとされており、発病をやや助長する条件である。

防除上の参考事項

ア. 令和4年度病害虫発生予察植物防疫情報第1号(令和4年4月8日発表)参照。

(ナス、キュウリ)

(1) ミナミキイロアザミウマ

予報内容

発生量 **やや少**

予報の根拠

ア. 4月20、21日の巡回調査によると、キュウリ、ナスでの発生量は
平年よりやや少なかった。

イ. 4月21日の季節予報（1か月予報）によると、気温は平年より高
く、降水量は平年より多いとされており、発生を助長する条件ではな
い。

(アブラナ科野菜)

(1) アブラムシ類

予報内容

発生時期 並 発生量 **やや多**

予報の根拠

ア. 赤磐市における4月1～4半旬の黄色水盤への飛来数は295頭で、
平年（235.1頭）より**やや多**かった。

イ. 4月21日の巡回調査によると、ダイコンでは平年同様発生を認め
ず、発生圃場率は平年（8.5%）並であった。

ウ. 4月21日の季節予報（1か月予報）によると、気温は平年より高
く、降水量は平年より多いとされており、発生を助長する条件ではな
い。

(2) コナガ

予報内容

発生時期 並 発生量 **やや少**

予報の根拠

ア. 赤磐市における4月1～4半旬のフェロモントラップの誘殺数は、
11頭で、平年（26.9頭）より**少**なかった。

イ. 4月21日の巡回調査によると、ダイコンでは発生を認めず、平年
（発生圃場率：0%）並であった。

ウ. 4月21日の季節予報（1か月予報）によると、気温は平年より高
く、降水量は平年より多いとされており、発生を助長する条件ではな
い。

4. 花き類

(キク)

(1) アブラムシ類

予報内容

発生量 **やや多**

予報の根拠

ア. 赤磐市における4月1～4半旬の黄色水盤への飛来数は295頭で、
平年（235.1頭）より**やや多**かった。

イ. 4月20日の巡回調査によると、発生圃場率は25.0%であり、平年
（発生圃場率：38.3%）並であった。

ウ. 4月21日の季節予報（1か月予報）によると、気温は平年より高
く、降水量は平年より多いとされており、発生を助長する条件ではな
い。

この情報は、岡山県病害虫防除所ホームページでも公開しています。
アドレスは、 <http://www.pref.okayama.jp/soshiki/239/>です。

